岩火的に騒行された。何が故 と改造されなければならなかつ

概されねばならぬことはいるま
、一般の弱化を耐烈として弾力に推
、でいるないが、でいるないではない。

物大臣に繋ぜしめて、國内行政

あづかつて文相を無任したこと 層の東條首相が更に文教の所を

の擴充現化を同つたこと、

なる際職と精質なる政治的性格

東條内閣の一部改造が廿日配

東條内閣の强化成る

陳然の選足、東光大阪を起用

東任せしめたことなど、八面六

沿つて、その政治力を重點的に

的理由については國民は続け多

を知らなかつたであらう。然

政の標準的光質語化を関らんと映画技能に對慮して、外変、内

この原則から外れるものでなく

して、殿時食棚の御保と頃前に して、殿時食棚の御保と頃前に

十六年十月取條內閣成立以來、 を加へたものといへよう。昭和 肌関する布職として努石の真意 共に、現内外間然の軍大性に

ぬところであり、

國民としても

力なる指鎖が今や確仮に明待さ 技の信念の下、ここに図政の弱、つたものである。東條首相の不

せる阪時緊急物質剝策に基くも

しめる方針」が決定した。勿論 よる需要者関格を以つて販費せ るもの、質上図格を内地に

米四では可成り困難が豫烈され

他の現行水準に於ける維持は國 たところであり、一方無要者図 や生政署の地面への熱意と供出

つの部しき刺戟である。歴民もつの部しき刺戟である。歴民も 消費者もまづこの政府の親心を

であちら。 凡石決版下に当け の政治力が版集後行

**益重大性を加へ來った掲載各國** 間ら大東亜版領の測膜に伴び盆 する政治力の補限に外ならぬ。

て國内政治力の

設など、現内閣は機能か改行さ

その後における 大東亞相の

の責

四級の策略上の明上が大幅で、 いの明上げである。 しかし生産者

、全く有難を國家の駁筒といはね、民にとつて今回の米世別上げは

前に朝常でること、したのは我の政府の出党が大統であるし、

供出数据を概念数学に於いて基

行はれては財るのである。第一

てはこの米田引上げと保行して

ばならぬ。又現行水斑に消費四

等の大いに共鳴し程いところで

民に従ると概心と思惑心を與へ

度らして、食椒販士の名を恥か 正、貯蓄の蹴行に一段の工夫を

大型工十四

関格は近く破裂されるが、内地 はれたわけである。朝鮮の引上 ので、その對策がまづ米徴に現

切の翻訳を排除しても、均茂と

ところである。

更に朝鮮に於い

数策を表するところである。 督府の剱政として我等の大いに 上るからである。これは全く認 農上に一つの安心と計畫が出來 度が耐てられることになり、燃 るとにようて、増蔵と供出の計

十二分に威得して、増西、供出 たる農民なたこの政府の親心を 感して欲しいのである。生産者 各般の関聯せる施策にも十分正 も貯蓄の配質なる取行といった 民の温くなる際工合の問節、即 引上げの他の物質への波及や展 はこれを固く信じ度い。又光四 行はないと言明してゐる。我々

に回挽の老早

に實充の力精

モルホ性力强

— 三六三六四兒西东西充古北瓜八九 三六三六四兒 

あらねばならぬからである。自 民生活の安定に移動的の條件で

敗の増添供出と、一層の消費規

正しく把握すべきである。その

正にあることはいふまでもない

数せる政治力をもつ大円階男氏

一層の飛躍を企関したこと、回

関節原相、簡素原献級の更迭、大良更短、同十七年二月の内部、大良更短、同十七年11月の内部、大良更短、同十七年11月の内部、大良更短、同十七年11月の内部、

外交の第一級にあった我が外交 能の中で問題との問題、機能 間間

一吸治

ついで参列階員切解をとつて

知各部隊の勅察任同様代表と

大學生の整仕する白頭にかつ大學生の整仕する白頭にかつ

海道大臣以下理機についで軍を捧じて拜閥あり、ついで陸潜水谷公揖議典為向して幣物語水谷公揖議典為向して幣物

献ひ、

遵如网络保证、富司以下献所

一個中職を置っていて大祭 兵一個中職を置っていて大祭 兵一個中職を置っていて大祭

職に導かれた御羽東が國恩院 頭め」の軍弊も消え入るやう に底類はたとかき消され、

二十八日(大祭第六日)四 門大祭院廷田のこの日は午前 日本の大学院廷田のこの日は午前 日本の大学院廷田のこの日本学校会 大学校六郎時郡田両名祭官 京司以下町内祭所と樂等。 即 宮司以下町内祭所と樂等。 か で本本版の確めってことに四

「リスポン廿一日同盟」メルボルン深館=西南次平洋反腐敵軍司令部代日本航空部隊が廿日夜ニューギニヤのオロ機を破職した高徳要した

ワシントン來館=※國海軍領は自日太平洋殿況に関し、次の如く發表

ガダルカナル窓の深垣随地を爆撃、兵員ならびに面材に駆像な

委員會を再開、午前に引續き首脳

レをリスアイレス廿日同盟

靖國神社春季臨時大祭

(大祭第五日) 第

P

發敵

強力な相互援助紐幣を結成するこ

職第一日目、サー 日子後は小庭恩哲 で小庭恩哲の探認 で小庭恩哲

第三回大陸連絡會 各地代表

満洲國國策諾本六類に則り現在

招魂式

に参詣、爾官の祭する故嗣に

大尉 沉默 正文 千大尉 沉默 正文 千大尉 沉默 正文 千木 幸一 军

た際上、階員玉庫を密切して配割

**準育、修設を行ひ、招頭式は** 

(版內市)

に永幼の興深く興まる間古の

日午後七時からは医療消え息

動せ参じた四郎造族は疑らな

御師を開く、宮司、保官再び招

たほ大祭第一日をる廿三日

世五日(大祭第三日)午前世五日(大祭第三日)午前世海軍両省係官、宮司以時四海軍両省係官、宮司以

石 權 良介(%) 興 行 新班 并原常太阳(%) 會計員 新班 并原常太阳(%) 會計員 新班 共原常太阳(%)

推薦候補者

脱詞を奏上、大祭委員長、暗

V所定の位置に<br />
筋関で<br />
の<br />
で<br />
あった。<br />
同

**歴報招魂の御像が執り行はれ** 

特旨功二旭二

九千九百八十七柱を陣記る本

八時間一つ止めぬ極底、こゝ

【東京戦略】宛國の英盤一萬

理機閉扉して招頭式前機

廿三日から一週間九段の海域 で嚴かに蹴行されるが、廿二

Ħ

加一地來

止男

大東亞戰爭關係

殊

勳

多甲

て太平常、印度等、支那大陸などの各方面において、卵脱丸死せる路長の一般だりて残骸甲として舒気をられるるは六十六名。うち時間微したるものは、支那年職の第中間および殴上戦闘がとにおいて体験を変せるものならびに大災副前等関始以来昨年八月に至る間においます。

翌 同

同

全陸競水和三山阿東島里

阿旭公司

本日支那番総治よび大災電威争に從事せる海軍將上に對し險功行性の御沙汰を理したり、今回際命に

海軍省公表 (四月廿二日)

「東京位は」根が第十十七時間時間の関連大統を前と甘二日祭九回大原田殿郭先及各行賞(海京祭門画)得六十六回 支那年殿が現金では、日本の北京に用が修とことし発展している。 「東京位は、「〇の統領院院司令官にしてハワイに戦に参加、東京は、一昨年二二月八日派問が認めるをあれ、同日中前場院を取りた日本の教堂にのよったの野山の祭祀・町として殿町の祭田県、東京にて次の企順を終して寛新さらだら、今回殿命に消した。第11日元度考は、一昨年二二月八日派問が認めるをあれ、同日中前場院原を取りた日の教堂をひれたる男子は旧日祭田中族がた、今回殿命に消した。第11日元度考は、一昨年二二月八日派問が認めるをあれ、同日中前場院原を取り入る政権を取りた。 第11日元年 11日の (11日本) (11日本)

功六起八三飛曹松本 功六回 三飛曹比嘉

**景記二**政

被同新同 留 冯

群兒東 大旗 鴉長

明鮮關係 學問之在 魚田 鹽湖中報問過長大佐權山解報週 中報問過長大佐權山解報週 中報問過長大佐權山解報週 中報問過程

双六 甝 顧見島 埼玉

瑞八賜金 同同

金 贵同

般行賞(産)

1

ワ

越一の韓島殿館の殿崎殿として館、窓の双担さを前記して見よう。 山口中将と

軍 海功 論

關行

は、山口を開中勝とそは金世界を ・ 山口を開中勝とそは金世界を ・ 大田ののの部分 一切として研究をものと、原語の ・ 大田ののの部分 一切として研究をものと、原語の ・ 大田ののの部分 一切として研究をので、 ・ 大田ののの部分 一切として研究をの語と ・ 大田ののの部分 一切として研究を ・ 大田ののの部分 一切として ・ 大田ののののので、 ・ 大田ののののので、 ・ 大田ののののので、 ・ 大田ののののので、 ・ 大田のののので、 ・ 大田のののので、 ・ 大田のののので、 ・ 大田のののので、 ・ 大田のののので、 ・ 大田のののので、 ・ 大田ののので、 ・ 大田のので、 ・ 大田 然な最期を遂げるまで同中略の足 に引縮岩東太平洋方面の駆闘に肚立したその人である、ハワイ海賊

既に一大概編を下した

・から三月上旬まではダヤワ扇を改一「変を関り他の敵が善」後と大型。に従いた、本生霊脈にして私心ながつアラフラ海に選出、ボートタ、回作隊に参加部別を関わた病態のの、に取り取けて高端の数。に取り取けて高端の数。に取り取けて高端の数。に取り取けて高端の数。に取り取けて高端の数。に取り取けて高端の数。に取り取けて高端の数。に取り取りである。数見数技にして海域大典教総額に終してアラブラ海に選出、ボートタ、回作隊に参加部別を関わた映画の、出口中将の人とよりや人様語があった。文でアンボン政職作器を

恩

取に容中版に数々の版史不認の武・跡は南溟の涯に関なく印され各海

今回中路の敷露い豆一般して殿印放定に | ミスを競与にして属り、コロンボ、F 万 面目を願加たらしめたものである。 「するが城ぐ盤と頭部を低にしたの間所人の御殿たり、原園寺町々人の 本面 しいった ものである。

を僚艦に無事移脈せしめたので加 監然と到理沈着のうちに部下原員 数数機の攻略をうければならなか の如き政府精神をもって勝史的な の如き政府精神をもって勝史的な のがき政府精神をもって勝史的な 職合医院要職を配伝、販力の売買

功二担二の特別の質の恩命に浴

に密照した。安

從容として職と運命

でを呼び、同一型および大型巡洋陸の変形に大担害を買べ、多数飲港を

の攻撃渦中に追航し航空母歌一歩 調するや部下極員を

関作服においては破大型巡洋域コースでウェーキ属攻略作成、アンボロートダーウインボス ス・アフト の では ス・アンボース アンボース アンボ

の下に落め逆卷く的な歴史ハワイ

·房醬出河<sup>帧</sup>

表現主義史觀

文化の形

成

木

BEN 题

東頭清線現念に 定修二・五〇 定修二・五〇

水を中心としている。

本権化北支那段等の開發 に再要が健たる水の問題 かっかとして外別演の を中心として外別演の かっかとして外別演の かっかとして外別演の がまにその敬等に渉り ・ コート ・ コー

元 全 在 1(5) 图 而 新理版社 和 图 (6) 图 而 新理版社 科 和 图 (6) 图 图 图 图 图 (7) 图 图 图 图 图 (7) 图 ( 一等につき説明、京た曹朝后願公

局長は 岩海に

新刊

展 鬱 原 京 三 九 八 七二東京市穂町島仮田町ニノナー

受及び管理状況 ・ 石油新興、並に確方開 財際の概念職工語の項語及び ・ 石油新興、並に確方開 財際の概念職工語の項語及び ・ 石油新興、並に確方開

パー企協院状形第一部長が 一切を取り地隔に集中するため の対象の対象に集中するため

終へて

委員

長語る

11

八時終了、第一日の日程を終つた

三千を捕捉

對日寄與

刊新社論評本日

支那經濟の構造

太田英一著

(関三·大〇 袋·二〇

忙たる今日の支那研究は、一面かかる金額的方法によつて掃けれればならぬ。他格規定をなさんとする。工業化門題・幣側門地線個々の特殊問題の孵明に忽現實の具體的裝料を忠質に集積して、審寺は支那經濟の金體的把握を試みその

北野大吉著 图第二〇 经·三〇 经·三〇 人工公司

英國自由貿易運動史 |慶の蔚黙・英國帝の世界的優位襲矢といふ現象に糟糠なる史的考格を加へる。| |詩に基き政治・部湾・思想史的立場において闡明し、同時にその後の自由貿易観光版自由貿易短別史の貢励をなす)||夏報史の貢励を

の物質の具性的方質での他を物面の物質の具性的方質を対象、他出標的数例

二十六日招生產業部長會議

集議

打合せを遂げる

発引

◆脱部传三氏(総領判第)大事へ 出源中廿日解版 廿一日整四〈廿元日頃解版兼定 十一日整四〈廿元日頃解版兼定

た表は、我社「特別炎老 保險」の昭和十七年度實行 で、保險者目が財富さし 我社の保險活用が財富さし で、保險者目が財富さし で、保險者目が財富さし

貯蓄をなった

**▲ 5** 剱上製三七四頁

選が概を正すころ宮司恭しくでかば」の重要の個べに消滅問始、破所の前で兵軍な『海 |採題様際が自甘腐時間の顔意を選っち、至欧公平よく時間を配職して| なほ今回の採尿時は次の銀い際時下の要次に関じて向ちようた||にようて懺覚歌廰が緩げられたの||廿二日その公氏名を襲奏した 司配開を楽して委員長以下参

| 省五十六名は、廿八名の紙献参員、得る京城在住名士の中から選出しへて選び出した京城府會議員陝浦 肝政の織固たる歩みに一身を擦げ はこくに潤りなく終了する つて御扉が閉され招魂の御後 列者御玉串を室翼、葉殿し路 市日に可紹いて遺族の昇酸診断日に可紹いて遺族の昇酸診、第二日の説を執行、下参遊、第二日の説を執行、

観観れは廿五名、元酸眞一名となあるが、その中現隧点は卅名、新 者は加勝好間氏の七十二説、一番 長など氣能の人々を集め最高年齢 ってをり、新願中には伊達元京城 なほ今回の推蔵候補は次の通りで

ハ名發表さる

所歴を流べた、なほ推願質は選挙

母としてその成果を注酬するとに

素砂でも推薦發表

^

狀況を説明 

く實限的研究であつて、徐新尼研究に基礎的文献として客與するところをい。厳問題と経産観察院、脾脂同引助止策をの停じ。こ、暴界共見の根本特得に基本群は推新政府によつて混石された承駆なるを減收策・認済政策を必め土族技

大田線と内では、日本のでは、日 明台熊沂土曾經濟史 吉川秀造著

心理學概論 小理學概論

和 推 章 作 章 Be神上製二・元○〒110

川州·武田·問夏編輯 川州·武田·問夏編輯 が一般を

本年度の酒類配給

版を採用して十五、十六郎年度宣 護りは多が固延をみつつあるが、 能を採用して十五、十六郎年度宣 護りは多が固延をみつつあるが、

計畫實施要綱を決定

滑のため伝る三月末の数工期には

上に関戦をる決職型の新聞が姿を

今後の傾向と共に注目に題する

金石でもあり観楽振興の

農地開發營團

給するといる方針をとる外はある は傍窓の暗事製資金に軍監的に 計畫造船竣工

工をもつて今月中には全部の完成

〇隻が竣工し、第一般はすでに関一学べることとなった

新興纖維活用展

特別出品會場決定

を徴収 第二回拂込 と伴び城下最重要位置とされてあ

【東京電路】東光大郎の外相駅氏】はじめ日際関係の緊密制化、劉旻一廿一日午後五時より尚相告献とお

駐華大使代理に堀内公使

題が山積してゐるので、この際新新政策一敗の强力撤進など重要問

近く新翻載としての心でへを踏ついて内閣記書頭と初音見を行ひ左

翼政人

事刷新

并野氏、總務就任確定的

た農相を辭任した井野氏が新たに任することが考べられてゐる、幸

意味に於て『日本票録』の設立

今次電力事業統合の質現を契機と一だけでも限に数千萬國の意大百金

腦電

流

0

話

(1)

本お久の歌酉 母子 冊 藤 是 動勞顯功章に輝く人々なで 東ニ ・ 東二 大々なで 東ニ

治水艦乘組將校の

い
な
る
な
に
に
、
奥
村
喜
和
男

東拓今後の活躍注目

総元補としての特殊會配化す

除は借込金によることに方針を決 込を月末迄に徴収することし、

の本年度は大部分が土工であるた 入手は相當困難の模様であるもの

緊 急

9

藤寬治善

資 强

券證田秋

ゐるが、

時から本部に臨時經務會を開催、

務出席、まづ山崎新農相、大麻新 阿部烈戦、蘭田米威氏その他各種

山崎氏の 入閣により 政務関連の たに有力なる候補者と目せられ、

概想のもとに新たなる断行をもつ

てこれに確むことが記ましいとの

めにもこの競争には勝ちぬかな日本の自存のためアジャの解放

内閣の改造により山崎、大阪际氏、東京電話」駅政會では今次東係

を度現したので、肉を繋げて改造 が入層蜀政府関係は一般の緊密化 外交陣大異動か

るところであるが青木大東亞相が

意見が各方面に有力であり、近く

協力を要望

天羽新情報

らぬ、関系部力戦の下に治いて一となつたが、特に二十一日午後一とあらざる観集をもあげねばな、「死に既金を入れて改組を行ふことをついき勝ちぬくと、もに武力」で支援を表えてしまり、そうない。

の 製政會はこ人と内閣改進に呼吸し 行すること人なった

(釜山府大橋通一丁目)

率水力、南賦水力、朝鮮電力等階に対する一億二千萬間を能頭に宮 これにより東拓としては江界水力ら全面的後期することになったが

期待されるわけである 重點的かつより積極的なる活躍が うて、既往の関係事業に對する

株式市況(湖里)

末相陣網の作用か、階種

の反一個、吸吸中間、味噌中個等が決定

際中

判額すれば、樂々と賭中職の領域

れを一定のグラフに指属で

一人や二人の女では遊女狂ひを始めると、

万法によれば、際の機能を電気現

四社への総領一億五千萬四の記

昭和十八年取の涸蜒配給計域については去る三月廿九日の第一回物面

廿一日の際會で原案通り決定したものである

差等配給

い状などの関係上相当に破産を発

の両者を容分に客間し飲酒者と男子の敷および十七年度の質積家庭用未端配給については青年

新者を含む)などに動し今回の 新館序終着(農林等、水研菜徒 高原原等特別配給町會では重要 な研究二回網育終了後開かれた

十三班一千

魯主催 「新興概念

群議物協會では廿一日機能會館

会)▲第四會場 三中井(廟鮮 被服工業和合聯合會、問親遊類 工業會)

動院を接らすことになってあるなほ特別出品物はそれと、質った

変了し相次いで勢工の呼びにあり 遠宮平以下七地區の工事調負契約 は開發指定九地區の工事調負契約 朝鮮思地開發紫陽の十七年度裏梁

て八年度事業も指定九地區のうち

れにもとづき 野めて 耐勢の質 おける配給見込敗印を概定し

シ家庭用酒の<br />
概常については<br />
現

本建の東洋金融新職州工場をは

であるが十九年取り除止地域であ | め主要商品について全観的に協出 | 物路についてに織原出次る見込み | 励計豊富行に着っては生於品はじ | のま要商品について全観的に協出 | のままで、質

入の機當制を政施、輸入には襲者的主要商品について全般的に輸出

計整として五千戸建築を目標に建

朝鮮住宅監断では十八年度の事職」れた未完成分四千餘月の完成もと

本年度二千四百八十萬圓

住宅營團建築資金

の空はまことに平解であった▲こ

つて居たが、花咲く野

賦内工場の苦沿から鰥石への施設

本年度の観吟金鷹マクネ工器は織一蹴への供給見逃しにつき感じ、脱一店長會屋を開催、十八年度貿易計

槓極對策樹立せん

でれた人分類させることとし、特別の提供三萬四を最生三萬四を最生三萬四を最生三萬四を

特 常加語 决氮家並に 利益会國分案

てきた、よって感動ではこれが所 際配可申請の豫定で漸く本格化し

西トンに動物的な大墳面計様を樹

出新たに述べた四月十

でが簡氣現象に置き換へて、その

れてゐる同志社大學教授魚木中

用を併せて營み、頭重、耳鳴、肩凝、 を全く情掃する。之と同時に脳神經の銭 朝は自然の軟便を大量に排泄し腸内の老

眩

を明確に解消し頭腦を頗る明快にする。

作用を發揮し更に腹痛、習慣性、榮養障

「モラ錠」は一劑を以て便通と頭腦明快

「モラ錠」は就慶前僅か一十二錠の服用

|日|回効果正確

T加清办、昭和徐八年 有职贸加州更 取商役

金道察京城府城北町最近所的流入年度,

太郎、昭和指八年的

徹國民が徹波の思ひ

米倉町歌會では創立四十年を記念 闡明するため斯界の榕殿として

**教師**京成

一定の麒麟として寫真に記

態限的な米英的な概性である。

牙鳴、眩暈

秘症に

懲望を制するところにある。 東洋の道環は、この無軌道な

廿一日午前十時より古市町の本社

朝鐵八分据置の際では

品會場は 左の如く 英定した

鮮内苦汁の増産

は相常程度規正するが國家国 じめ既石併用の殿南朝の三菱マグ

に對して開酎なら八合、ビール、 藥務用を通じ滞洒、合成酒一升、 特別配信用、家庭用、特務用、

でとになってある 地の影開次第代格園鉛を認め ま

(可認物便對極三第

朝鮮の鐵鋼業の動向

野【上】

動職保は数々困難となって來るで

|麒麟標給の完璧を期すべきこ

論じてゐたのであるが、 腦被眦破

されによると第一回を三時半に をり約冊分間体態の後、第二回 目を八時前後に終映することに なる。

あらゆる 

化膿症腳淋病に

內服短期治療法

らになってゐたが、四節側頭の細

文献進是一旦三十七番地一元製製模式會融入 一十五段、一間、三隅、各幾局にあり。 の副作用絶對なきを以て推奬する

御希銘者は東京市総谷區上通四丁、

は一大は大きのはある。

は新配給方針に從ひ午後二時年か

るならは触内に於ける苦什の積極 期換が一刻を明る決戦増配に間に

競問顧されるに至つをので概念 増配対策の確立が急務とされるに

推選続制度社となる航災振興の歴

る一つの示唆を貶へるものとして

金五千萬國の名質共に則能舒慰の一たことは同批今後の行き方に對す政府思致と共に本年十月には資本一子會此『日本農的範疇』を設立し

日本黑鉛の創設

各方面より重視さる

芝城物を招き関係報音、高質所土 

閣職に湛きて朝鮮の地位他にその 答案となり得るなら て必須不可能の意思資材であるこ 配給の圓滑

総制方式及び 組織機能の 整備は

消費の重點化

により一層の質點化が記ましい、 してゐるに過ぎない、糖醛所に於

運搬なさを期し、以て所期の目的 概範の関語なる配給により 策として統制方式の一類と配

ふとが問題である。過去一ケ年度

特に朝鮮に於ては其の必要度が

は移して以てわが朝鮮に於ても不 を期しつくあるこの関家的大方針

自給體制の確立

來るやうな解制へと進めなければ

る際網職保問際が根本的に解決せ られるでもらう日である、われわ

に開限しておへらるべきでないが

うである

し需要者の求めに勝ずべきかとい

配ちわれわれの言ふば微微

政府等を保げて國防西部の関係競

をもつた場合には、これは訓練で

かぶせるといつても、ずつぶり水

文化だより

野しきゆゑよそ~したの親 原際の日をか合わつと彩めきぬ 京 城 磯井鉾修子 京 城 磯井鉾修子

文総管府推薦映書 保存所では日本映選航、昭江水衛育前共同級 作文化 映畫『大建設 鴨鴻江女 ム』(二巻) なこの様ご推断映

本語では、 本語では、 をは容易でない根語の をは容易でない根語の をは容易でない根語の をは容易でない根語の をは容易でない根語の をはない。 をはれる をはれる。 をはれる をはれる。 をはなる。 をはなる。 をはな。 をはな。 をはな。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはな。 をはなる。 をはな。 をはな。 をはなる。 をはな。 をはな

映畵 ニュース

鍵であるならば、他の一つの鍵は 給面における機械的工作が一つの機給関整問機能決のために、配

一瞬間の入手が強約されない、

以て大東亞羅爾政策の一環として に半島商業の助所を察し、本部に

**歯って**朝鮮郷熱所関係衛局より時

に要認された既は先づ第一に「自」むる数に努められたい」ことであ

の既に承通したつもりである。然 明朝は嫁顧の生命地部である内地 現實に一度でも多くの阿爾を原保 場合には既に既然なる前野野正なのの既にからてとの一年間を関節の 駆しい 寛潔に上って ある、而も「極及び認頼方立を如何に持用して」とされて來をのであるが、陳朝の とは眼離的に相當の職定りを持つ

に駐在してから約一ケ年を解過す

の領域質統制各位を可具して開館

半島青年の奮起を促す

牛島少將談

百錬の数と 凝って何物 的な能学を競弾するやう鰕成の坊。

希察するに、遺憾的年に経へ心半島

不肯また無成指導に任ずる限り、 大振遊なる望廊に崩び至るの優一客を固めるべきだ

ず、功みに不便不自由を覚服して

である。ところがこの数類は、

極めて多れな本がでも

所生指導上

國民各自がその底力と既の冴えを

として磯明の面質を彼って起っ。 として磯明の面質を彼って起っ。この際一等を職体したきことは、 なれるの音をして勝奈田のの。 いのでは、ことを切に歌師してあるが、特に ないのできなして勝奈田の一、近の歌曲になるが、特に なれるの音をして勝奈田の一、近の歌曲になるが、特に なれるの音をして勝奈田の一、近の歌曲になるが、特に

ことを切に窓腕してゐるが、特に

奉公の誠を効し、願か

をあげ、入所宮時の無自覚なる青

に五ケ月を經迄今日、なほも烏合 態度、微緻、懸答など収練の本旨

の衆たるの威があるのは最も道像

とするところだ、こくに餓成所生

成功の曉に於いては中

所生の醸成に補進して多大な成果

必ず深る」と魅して放送

また限監巡洋職等を航空帯職に改  換し我が國民の戦事遂行の意志を

ワエー等の隣上派地から

れが誤問を整へ合や容異機會を

本土を焦土化し、戦争差

べ規模の空襲計畫

大東臨戦は盛々決戦段階

の観察を挽回せんとしてその尨大敗戦を買ねて來た米國は一般にそ

大東血版領の緒版以來、敗賦と

への細給は宝すく地大せ

我恐れず鐵壁の備

劉日凞反攻の年と決し空観を以て

と國民に強ひ、日本に對し部告し

しからは米國が日本本土

十 上の日本人爆撃である

0=病系頻繁中、次男常は悪ごと一般に燃減にむせびつく言葉少に融 ■日本女子大二年、長男膝方潤で 子末亡人でしと長女弘子さんでも に見入る堂子赤亡人は、破格の恩

恩命に咽ぶ山口中將未亡人 関係を飾つた正而床の間の祭牧の ヤワ島南岸空襲、クリスマス島政

以降は航空隊司令として大陸各地

とくもに従将として戦と運命を俱

致命間をうけ部下部員を他職に

を打つんだね、お母さま 日常生活が遺書

「東京電路」廿二日信職院部 日大東部航軍形を着行司に武 日大東部航軍形を着行司に武

の功一級を聴ったものは昨年

|担一の特別関節の概能に浴した。| 野医したが、無念影響のため自然(東京電話)今回の総郊行賞に功。| 第一学に大道密を肥く斯飛行機を

の版死を遂げた塚田大將につ

主人は平凡な軍

功

級授賜の榮

山口中將で卅七人目

控制の部類で聞く山口多問符

來少將未亡人の談 特徴破を集中してゐる、而してこ

して何時でも所要に嫌じ、敵空に物らずこれをまた直ちに確修整 連禁地を玉口、歐水、

してゐる、これ等の交那の空里話

ともに解かにつゝましく毎日か

にあるから、季節がお であるが、アメリカが世界に凝る

銃後みな防衛戦

日党に徹し

持、場を守ることが最も肝

よを七分咲き、その希臘と識別を 心越しに映ゆる際資根の機は、い **■乃木高女三年生、屠殆類(こも)=** 

するのである、之がた 事意志を破解しようと

決百定命

始開業營道鐵。日一月四

職室の周りに飾られた権木の若標

れて微笑んでゐた、やがて午前九 は、解溯一如の麗しい友情に綴ら

射鮮デルキ開發株式會社

消防用・井戸用名実共に斯界第一

京城府黄金町二 書まずる

只をよくせよ

昭和野がたる 會

品有定值 

三十二〇章,接著名曰唐五四五六五章

で自由くなる 勝っために (樹質を傷めぬ便良麹膳) 榮 養 化 無駄なく 強 物 を

当中で、ごも本年後半期頃には曖 更に また特設航空骨壁が現在十 が、速力は世数節とのことである 数数あり、昨年七月ころから部月 たにまた名積の工夫を**凝して航空** に獨立して米國陸軍航空部隊を編

る誤りであつで、目下の米域にお

ことと、無難に依る火災に勤するに火機や互斯等火元の始末をする 際しては家庭に於いては先づ第一

病人等は防空襲等適常な場所に

に招き年数色を設けた、一瞬でも

臓を変へ問り合はうとする細質の

直ちに全力を駆けて消火に努めな 待避せしめ、働き得る人は総て其 消火が肝要であつて、老人や子供

ければならない、前にも述べた如

和やか、大陸隣組 御遠路をご犒ふ總監

春陽浴びて連絡會議

助紐幣が固く結ばれて行つた

中衙場

邦現計物

雄店店

ヨード含有量

新火災個見無 に御暴力を鳴り継行を深端院選集中御等名 に御暴力を鳴り継行を深端院選集中御等名 に御暴力を鳴り継行を深端院選集中御等名 御月廿一日 四月廿一日 四月廿一日 一日 本和三丁目 一日 本和三丁目 一日 本和三丁目 一日 本和三丁目 一日 本和三丁目

れば、現在のところ複集あるか明

谷母盤の現況はどうかと聞べてみ

五月 ころ大小合せて 無敬仰あり を での他飛行艇 登覧があり、昨年 での他飛行艇 登覧があり、昨年

以上三つの方法である、先づ航程

要が就役しこの種のものは落場

りの容器について申すと、糸航

10潮湖、雅北、蒙古、明夏州、朝 / 政部さん、お演集だったらしい | ちりと欄へようと別く第三回大陸 洲陽政部派衛長官が向ひ合して打 ちとけ合ふ物のことばで、明がま

☆──殿中態定が後 響防行動の発中郵路 ☆……去る○日

見えて、片殿から血が流れ、起 と戦つた自戦車もろとも置い遊 が到かりたと ・・・・・アレヨー と騒ぐばかりで 行人の辩に押しまくられた一人 整行動に従事してゐた一人の整 跳も呆然と見守つてゐると、欧 せられて待避する通

哲學

謝

謝

近火御見舞

H

華

樓

譤

洋

딞

店

を治すには 番 野村久子

訬

松屋吳

店

日とがよい ノビがよい

勝

美

堂

謝 謝 中川 勝 世 川 勝

近火御見舞 c近 藥

科 醫

店

平 井 **齒** 火 御 見 舞

院

-榮養が充實す

なつてゐる、風陵も青年も官公吏

鍛成を加へ

二年の間に
うに隣接のや

ころにわれは一をもって。中に省る

たならば、この東大時間を 類り切

ず、既往の御供えのまゝ選然とし

質の向上こそ錬成の本質

てその日晷しの生活を繰返してゐ

本能的訓練 を必要とう 報答になる者は報人。日公童、私 のであるのだ。他へこれで新聞的 がになる者は報人。「日公童、私 がになる者は報人。「日公童、私

田まず、時間下収力増減の関策に観いたり指導送的を使していた。

育といふやうな感じを買べるもの

小跳大いなる祭原稿

があつた、指導者は成石に委せと

れに所生は放蹤となり出席歩合低一力に

一切力と交通である、その環境と生

成すべきで、それには彼の場別よ

りもとれを強の耐上に努めるべき

もに数石の消弾と比喩なる協力と まづ自らを

質別を融級したのであるが、その

三道に宜り鉄成所について錬成の一般に副はず、これにより成績も不

鍛成し、と

各々その職場に薬団し動物

の部が社會思湖動向として標準 强度の要求 を動に表 路は全くその影をひそめ

も、銀行資社も鉱山も、男も女も一全國民を一人の領るる者なく分に

ならない、 
 東保前相はさきに
 取時

れてきた薫陶、陶冶、訓練などの要を殴ずるとき、これまで用ひ馴

後に彼他せられた徒戦をあげてわ 自由主義、個人主義など、英米思

る大東追城下、 個力銀路など循切にその必

(切にその心) 地し、 能認を強強して平時に 要認 と を精能の 著々だる勝利に 当要なく の の 解説において 最高度の 能力を 整一を精能の 著々だる 勝利に 当要なく

民の指針をら

激慨として『一層の歌詞を促す』と慰して左の如く要望した

の際は、現下盆久感を更するこれら周辺暴破、ひいては興燃育年時別暴成所の頭派を検討するとくもに、 地震では、 半路の衝長網への前提機関とる頭燃青年時別無成所の頃命と育大作を露え別知させた。 観賞に

く地方官民の関心も求え崇高な施一この監特に皆恵者の衆国を促すも

3便通がよくな

2 育化が早い 2消化が早い

白四十四に 脱時計一箇を 盗難に

小畑さんは十三個

人々

々が鐵

0

體

標語も鮮か、健民運動のポスター

盛大に執行

壁滅、島郎將兵武運長久の大耐撃と戦信者と共に人類平和の仇敵米英

夜

での大きな<br />
迷び子は<br />
思南殿山郷上<br />
での大きな<br />
迷び子は<br />
思南殿山郷上

で帰員が十六歳になる迷ひ子りを

その韓国には、ヶ去る

大きな迷ひ子
廿日年後

日真大門繁星頌に鳥智(十三)嗣で治ふ取人接職新陣路揚運動の

盗難者に惠みの旅費

ぞ模範警官

消費に関資機な岩を押する

完全ない

OF STATE OF 封を益山輔成會に密附した 際し司法保護所総許金として金一

朝

が届けられた、

發信人は、

職務の母に最後の映別を告げて敢

話題の主人公

の大掃除日割 西大門署管

かなといかもり、その上食だけでも銃後の鉄成に兵鉄 光の中に大気を吸ふといふ

ある【寫第一つみ草質】

二回を開きます』と語って

歴館では『近く北漢山で第

的目間を割いて十六日替祭を通じ開闢期では過日総合決算期餘金か

献金相次で献金に原南三千

かねと

在電防低級は遂行さればならはと「数をおうそかには出來ぬ~と採具件の死に私事で、職時と難ら真大「数は宜し、母の死などで國家的任

を表し、一般の明心には一般に のでは、対策のこつ…… のでは、対策のこつ…… ではありませつ が、戦争のこつ……。

錬成の一日を迎つたが、一 から議職を受けるなど心身 競攝みに打測じ脈蜒の先生

石三鳥の効果をねらつた料

**里責を果す愛國班長** 

美は

き話題

三つ

行び一般客所調査所木野崎技師の から各三時間に建つて特別素がを設け廿五日午前九時と午後一

時宿泊所であって、女を弄する旅館 といふものは 外來客の一 れば緊張が緩み易いもので、数質場ではない、特に客にも

『朝鮮の銭石に就て』の特別議演

母親の一

死は私事

今度は北漢山

へ摘み草

名の脅負が集りよもざやエ

式命任婦護看護救時臨

式は廿一旦中前十

で詩晩百十三殿の個鈴川都男氏の合れる。田村獨風氏の控形につい 心験、本は、野吟殿的後援で開催

を選続するため、このほど物内底 が路署司法保ではこれらの不均者

間の一颗検索を行つたが、十九日

**少野の女々を押しつける旅館業の** 

引きに鐵槌、な

別參觀日

心験記念科整館では國民秘役と密

□ 統後の治安を脱するのとして、殿 一合計廿四を貰ってゐた、同場では 一世語綱として男女各一名五週づっ

態、接翻などの中では関する。 一般、接触なりのでは、 東大きれる。 「原語本語」 一一大数 一日井株式店、 「原語本語」 一一大数 一日井株式店、 「原語本語」 一一大数 一日本 大利用 の でいました。

主任欧東京の場合である。以下松浦東京の場合を行ってある。以下松浦

記念科學で設く

時教師新野婦氏の職

**赤朝鮮本能臨時教** 

をみなの頭々しい決意を腕に斑縁 。原理雨に身を低して傷つける男

不英職じて殴つペレ——盛上る國

で野明省館際上に防空電材展覧會

府民館で開く

勤皇詩吟大會

で四萬市民に防空施設を一層語化

『吟詠伽真志士音』が廿九日正の歌僚心を凝集して日本精神間

|日午前九時から成市町の農育林||子次日から四日間に近つて郷原東||一行は守日陽夜レ光||一年のの不崎原県校原宗流法は「国めるが、京成幽州崎城では去る||夕柳湖、西郷牧園の成果も見事に と循環地震に勝い若さ気徒、児童 |日午前北海から城北町の県京林||-| 1部館子|||百名、二部館七百名|| 方 シベリア語、報言と 方 可認い手で植る时け必勝の信念を 里午の校育林金額山へ柳樂校

長年先願頭指揮のもとに勝員生徒

一時から寮季大祭を行ふが第日は

から、職間 前部を修せ続

伸びろ、未來は木造船な

大阪党第四条では東京に、第5 内で、八子本を大平洋の議を開って辿む。 一百名が山麓に野党・野に衛田と野めよう。 「東京として大いに諸国と野めよう。」 「東京として大いに諸国と野めよう。」 「東京として大いに諸国と野めよう。」 「東京として大いに諸国と野めよう。」 「東京として大いに諸国と野めよう。」

に更に拍車・登機神昂揚 を呼んである。 百岁同盟是二年 ð, 水英撃滅に変進しようではないか線へが、増進ペープを取ってうな難を派へ一人、タイが、選のぐうな難を派へ互は整個の大事なを能だ Massaca なうてはないか

がけるポスターが廿一日、総力隊

月から築町一番地に工物・四國を神局新穀期成會を結成、一昨年九

三人類都合と伝り特別の相談と個人

電本七六七番

離した版

來る廿四日午前十時から上演

会、十銭自領道など七四八十六銭の、十銭自領道など七四八十六銭の 國防献金の監町四五ノー



於一年期有: 200 mm (200 mm) (200 m

G

一指腸丸 和藥治學際 綿日

館中 仕の内 寫修

六 夢物語 物語 花ス

本ニユー

水型選しアドラ 草

記門原門太

日本ニュー

ピアラネルガンを持て関する。

電話本局八五六二番宗日案内ノ御用命穴

日本ニュース という ない は 田 本 ニュース といいば 船を造らった 理 御 殿 マインン 1 沖海順像台

資材完備

歌ふ狸御おった日見日間

上原 源・原野 週子 佐利 骨・11宅 乳子 と そ の 妹 日 本 三 ユース

アイロン工業用及信熱である。

ペレ』様が現代行権人セ・三〇日 成入九・〇〇(城)『郊園神社大 祭を迎ふるに際イビ』(後音)始 大学雄人九・〇〇(城)『家園神社、市 西の(城)郡域「河園神社臨時大 一〇(城)郡域「河園神社臨時大

便

即利 2本禮 2本禮 8

式

時男君の綴方

一十二日より十八日まで 日本 ニュース 日本 ニュース 大建設鴨線 [ダム] 大建設鴨線 [ダム]

理修売販量

議院第2届本にの ・スピト採用

日鴨一宮のストースを選挙のである。

交

日



阪 政 遺 元 元 に弊店侵流記より際SAO に関し単に結核の 鬼 須 須 美 び 宁 自**商** 宛 七店所

適 應 定 終、外科結核、其他の結核性疾患。 核、外科結核、其他の結核性疾患。 核、外科結核、其他の結核性疾患。 度別なり。

到美国第2

一土十升卅1 除疑弱中强 はきこさを2017~ 

指方 発疫元

関目中に対照 関目中に対照 関門ではおけれ 同門ではない。 のではないがに にはないがに にはないがに にはないがに にはないがに にはないがに にはないがに にはないがに にはないが、 に

臨床實驗上確認された 理想的新利尿劑 利尿作用著しく 穿踵は速に消退し 尿蛋白その他溶毒薬を排泄す 甘味にして飲み易く 連用するも副 作用のない、純植物性利尿劑



製造設備表 模式會並 排票十郎商店 岡山市紅尾町 振替岡山三〇〇三番

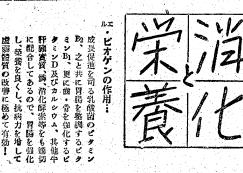
篇为武台的、华北省中国中国人人类 除开山山一网子

院元OO2 III·OO











五〇〇段・ニョ七〇

識初の改造であることは極め

閣改造を勠行して閣内の昭化をは「東京党品」東條内閣は二十日内

園民政府の報化、ビルマの爨立、一て、この監従來とも頻政會をはじ とに競撃を完遂せんとする首相の

動かつたのであるが、今回その度 あらう、山崎四和は既に腹相としめとして隣内における要別は相信 直紋の壁的な現はれと見るべきで

こしての經驗済みで、大顧國務相また

首相ビドクン・キスリング氏は十

「ベルリン甘日同盟」ノルウニー

つき の整御間化に総對に不可暇であつ

| 國民の熟意を凝集し展現一致のも

諾首相、 總統を訪問

意視線監、三好響保局長の内浴

は第一級の一兵に至るまでよ 今次のわが劉交方針に開して

これが質行に移りつくむり

東京電話】山崎内務次官

內務三役辭表提出

関察に関レ左の加く語った 配で記者圏と何見今次華北 配で記者圏と何見今次華北 「南京二十日同国」 通交那

掘力政治の滲透

称、内部、文部、健林の四和前に

完勝へ强力な展開

印佛

台次の内閣改造に期合次の内閣改造に期

重慶、空襲季節に戦く

過去六年の

死者九千

千七百二十名となって<br />
ある<br />
「一年日二十名となって<br />
ある<br />
一本の<br />
一本の<br/>
一本の<br />
一本 施設の破壊一萬一千百八十一ケ市壓燥軽回数は百十三回、軍事

(中を極力・音足する反面、ポーランプラウダ紙は十九日の社)説で、事 はれるが、モスコー來覚によれば

政権の態度を口を極めて非難し

2 西鲜 2

字社に資相調査方を依頼したとい意閣議を開催した結果、萬國赤十 然は一段と駆化し、ロンドンにあ

部散級に配腿されたと解へられる

に協選することゝなり、十七日?に移轉してゐたが、今回モスコー 以來大便館とともにクイビシエフ 大便能附陸軍武官器は一九四〇年

だモスコー脳型門壁については、

見られる。

れた補助部隊の第一陣が、最近東

ソ波破局へ

聴つて外粉大臣に配低した立とは一陸制推進の上に軍大な一颗機を衝

内閣改造と各地の反響

たものとして、脳淵國として、脳淵國として

で大なる抑待がかけられ、殊に前

方過酸南京を訪問して對華閣観の

北華

に関し商北官義所で「北京廿一日同盟」

一
航
伝
と
な
っ
た
こ
と
も
、
共
同
の
目
的 に向つて連進する日龍兩國の國内

は左の見解の下に就迎の意を裹し

役割を果しつくある難北処般を

機となるが、曖林皆局ではこれに

なり、これを従來の疑慮金二億円

肌

の弾

概自給対策の整備を底機してゐる

岩さを

モスコーに歸還

わが陸軍武官室

中語大便瓜光馨氏が谷外相の後を

中核とする閻魔図の世界新秩序。また今回の改造で特に注訳される

午後一時過ぎ宮中を退下した ふ大御心のほどに恐懼感滅レつス く大御、一回は敦慰に寄せさせ給 獨大使夫妻に賜謁

1氏ならびに同夫人などを宮中桐 ツ時命金権大便スターマナ時三十分本邦駐部ドイ 島后陛下には廿 【東京統語】践くも 手續の簡捷化

**新聞 關稅法戰時特例** 

かして今回制定された關税法職時日より質施することになった。ヒ **耐敷令とも近く公布のうへ五月一** ともに、廿日の閣職に附議決定 出來ることにしたこと れをなし得るこれをなりをこと ものでは、 は荷目線提出前でも飛り長の一、外國貿易に位 でも飛り長の 一、外國貿易になるとしたこと 「五間に限られて」

的改正を加へ税関手属の動動的節管解の要数は左のがく収時中の威等側の要数は左のがく収時中の威

長らを廿一日宮中に名され御敬労、は正午町明飯に出御あらせられ號、「成是賣職に勇蛋の内田東大職」宮中に勢内、既くも 天見陛下に 大見陛下には今歌金國 激揺らは午前十一階過ぎ相ついで 午餐の御陪食仰付けらる 光敬授 京城大縣長代理 山家信次

の思名をもつて午餐の御幣食を印本宮守正王殿下にも御殿院、東係 協職、北大合格、阪大麻協利行、名 ら側近率仕者をも召させられて一 2けられた、この日光祭の東大内 棄鞴文相、

古屋大温湖元治、台北大安藤正次、同に午餐の御陪食を仰付けられた 間に召され親しく権見仰付けられ

| 栗なる戦闘弧行率||および海域荷役|| 行政特別法の最初の強動として注 | 「、保税運発を法し得るのは徒殊|| 「東京電話」大概省では厳時下縣 | 雑化をはかる主旨のもので、戦時 | 一、保税運発の均合消移の側限を

で臨時閉顧の特別と話き関系な歌時間が大のない。 力増弱を闘るため八十一謎曾を通

一、夜間および休日における官物の曜下し、保税地成内の貨物のの曜下し、保税地成内の貨物のでいては企業税割長の背がで収したのを清明の旧記しておけてること、した、従って特許手敷料もこれを厳したと

と一般的に撮影、税牒長の時許める であなかつたの々その範囲を全一であなかつたのなその範囲を全一であなかったのなその範囲を全一が開催出入は原則として認められた。

光榮の全國帝大總長

より、頭化蝦光する一方、大東亞・表としてこの陸竜勢力は県國艦部の國際政局に弱する指導力はい「大麻威勢相の起用である、國民代 監散方策が選しい前進をつざけましたころは爆政会からの山路原和、

溯滿

完整決職の機制をさらに確化するの別主たる製料日本が大東亞職事

重光新外相へ紀大の期待

に親レく御絃談を鳴び、天機隠し 出御、御茶を召させられつ×一同 瀬洲國官民は大東語(新京廿一日開盟)

第光外務、山崎農林、大麻無任 場をさらに限化する決意を固めて **現の一大國策に向つて確乎たる立** 湖洲國側は北邊鎮護、對日經濟器

ものとして全幅的協力態度を示し

【服東廿日岡盟】空襲季節の到來

専削の層出で足ることゝし從つ め税限長の承認をうけた船舶は に出入し得ること」し同時に激 場合は命令をもつて定むる不開

**【ストツクホルム十九日同盟】**ス

虐殺事件紛糾

損害甚大

ユニジヤ戦況愈々活潑化

朝官等の所在地間に於いてもむ。 をこの範圍を掘廃しその他の税 い と保税地域間に限られてゐたの \*\* 順の特別に関する戦令は、税関の 執務性制の間形化をはかる主旨よ 者の申談は限じて税関手続きを行 ひ得ること、したもので、従來の 様だ、アンフイダブイル南方に布一〇飛波し、現在依然アンフイダブ 全級にわたって服別は微次活際化。 しいよく、決成の時期が迫った模一 【リスポン廿日同盟】チュニジャ」のため様大な損害を張りながらも

早朝までに個輔軍は突入部隊を包 次々と新鋭部隊を輸出し一地監で

方面の反ねり

防禦級は電載館の手中に確

設ならびに出産免除などの別 日数、船舶國籍遊贈、贈口申 間の外に除ける船用

兵部隊をもつて監説な歌にわたり 然に進戦を開始、空隔呼吸して

土が泥ってあることはソ畷の人的かなり多数のトルキスタン出身兵

高等法院判示本府判事

大邱搜索法院判示本府判事維定規模審法院部長

ノ白純 品製

製粉機 かんしゅうしょうしょう おいじゅうしん

ロール資密

九〇时

またドイツ型筋は赤型部隊の中に

京城设备法院長本府判事

松

一平頻單方法院長不附判示 長谷川 長谷川

| 増間内における郷気肌の値器は4

樞軸軍反擊態勢 戦局の中心はチユニジヤとクバン

| ペルリン二十日同盟|| 職統大本 | 畷は今次冬季成攻作前で駆しい兵(ペルリン二十日同盟) 職統大本 | 畷は今次冬季成攻作前で駆しい兵 クバンの双脳頭像にある、チュ現在戦局の中心はチュニジャと が、管地に選した情報によればシー

抗戦の迷夢から醒めよ

[] [] 13. [1]

止歩ノ高層

鮑上將、

重慶將士へ通電

ぐ』と起して長文の通電を解は十九日『近廊將士に告 府政事委員會聯參課長體上「南京十九日同盟」國民政

國の自由死立を獲得した國

日野原

機碎粉と機粉製

元 質 簽 造 製 新作製 械 機 正井土 對 1.1.5 (1.00m c 和 1.5m (2.5m (2.5m ) 2.5m ) 2.5m (2.5m )

要失せる意図にあって抗戦 府の現狀を説いて彼の迷妄 とくもに、強敬とくもに中 気配することなきを哄する

◆佐藤武雄氏(城大路県記長)

【納即當豐庫在】

を設し、慌せて抗戦名目を

電解放松に参加しつくある 登し、和平雄國町は圧主席

一反し、可吸将士はころ六

てゐたが、これは不可である、本質材全部が始と内地に依存し

旦維帶緊密化 食糧問題、物資交流等を協議 けふ大陸連絡會議開く の確立の必要を力能、最後に し極力大陸西等級派の大陸自足性 依存を脱却せねばならぬ大陸路地域間の協力を得て内地

題を紹介、次いで井原巻謀長よ一力の必要につき次の城く探繆瀬勇における重要政策並びに重要問一る大陸蔣地域間の密接不離なる協 力の必要につき次の城く探擦頭部 本質について耐怪がかねて抱懐朝鮮史の汚へ方並に朝鮮民族の 場を総俗所に移し各地の情況報告 ちた答辭を述べた、かくて再び倒

縣廿四十三名

認務局長、海⑪武官府松本大佐ら務省新居國土局長、大東亞省竹内 ザーパー企政院教派第一部長、内

壁の相互援助關係の紐幣を一階

原際課長の委員十七名さらにオブ

長、曹麗岩崎公匝、臺閣政府武

変通その他を附職事項を中心に各

と関で、道説朝鮮の確立と関係本

## 復興國府 敵性蠢動を許さず の後楯

5

談した、兩大統

今度観察の機會に難北政跡委 災路塔とも認該の機を得、 負自委員長はじめ覇北の政府 日前共同館の貿現に連進しあ

縁意においてますく内政を が對支方針に即應し其政伍と における中國戦また今次のわ についているく一承り、 努力に對し感謝の念を深めたるを知り現地の日蓋官民の御 次第である

明朗かつ强力なる同生変死のの乱乱を低して岩に駆應し、 が封交方針の進展に伴ふ日本地を失つた破脱中共産軍がわ は近時武力的に全く舞動の除ただしここに 見巡し 難じの

ひ近代の順係にかいては世界

対節の事情たる民生なかんづ 範の大方針の削には一個の四

開封殺してもつて従期中國政 に國所治下における一切の

な支那の民衆を弄紛し再びか つての抗酸師然の参加と 彼らの顕絵のおがきとも見ら この和空配なる宣傳がわが正

く食器同庭と結びつけて無智

でらるこの川原を映へず、 はすべきあらゆる意味を挑吟 ずるのである、本職はここに 取は作威繁備の遺伝において概察機の所収を述ぶると共に に選出すべき時であると個 もつて彼らの逆覚似に報

れるのである

助を悩み、兩民族の創盟を配

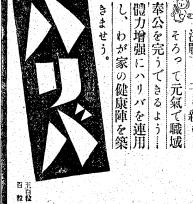
概や生息するが加き一切の目

のとして極めて真大説してゐる。斯概を掌握し得る指述を愛いたも 瞬の関面において世界的構想の主 【東京性點】緊急物質對策要將 大億五千萬圓 政府の頁擔額

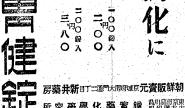
一基く昭和十八年度武米到策要請け 既金のほか石営り十四五十銭の組











産特方南。 完全消化に

局の競表によれば、四月十六日

百七十五機喪失

赤軍、四日間に

部版級で要失した飛行機は合計

マスターデ

サラつと爽やかし くる

を巧みに應用してあ らピチーへ弾力づき らピチーへ弾力づき がいるとが性の素脈美

刺ラセランの乳化液ドイツ特許皮膚栄養

所究研學化藥實鐘 <sup>副川品市京東</sup>

スポウスボウ

の良き代表

(Ing

陣 [2]

**ト伽を上面して総カー丸、** 

部長談察

道部長 妹 成

0

側

透呈

ホーと元氣一杯の島前へを

德

新

緑の

箩

ء. د

藤不證芬曾紅牙城 れ 影 園 を 直 時一は日平 映開分十三 ||高峰三校子 ||高峰三校子 ||海代 給 社 是供 切鮮 映 遊覧 明治 のだ! 東京の或る隣組は、 東京の或る隣組は、 東京の或る隣組は、 を を と で ましく戦つた 將浩 村野 實 谷溢 郎三公村吉 將浩 司 共 實



然酸族や工識関係など

東宝 



ふの市況(年1日)

[127]

**安野橋村(給)** 

カナダの現有兵力

新 子 藤 川 里平日

本(U

排

計御 中川

葬

儀

流社

天然スレート 東洋路中。一五八

謝類燒御見舞

**声** 删. H 商

ントナイト 発用できてくれ

「重な見逃す勿れ、 で見逃す勿れ、 で見逃す勿れ、 で見逃す勿れ、 で見逃すのれ、 で見逃すのれ、 で見逃すのれ、 で見逃すのれ、 で見逃すのれ、 で見逃すのれ、 で見逃すのれ、 で見逃する。 飛行機と船、製鋼の三川崎重工妙味 

建建工